

# 星野学園小学校新聞

星野学園小学校  
 埼玉県川越市上寺山 216-1  
 〒350-0826 TEL.049(227)5588  
 星野学園小学校  
 Web  
[www.hoshinogakuenn.ed.jp/hes/](http://www.hoshinogakuenn.ed.jp/hes/)

## 新体育館 完成間近

昨年三月より建設がスタートした星野学園小学校新体育館・新校舎の工事が、いよいよこの一月に完了する。この一大プロジェクトを一年間見守ってきた児童たちは、日々完成に近付いてくる新体育館を見ながら期待に胸を膨らませている。尚、この工事の一年間の様子については、星野学園小学校のホームページを確認していただきたい。



上から見た新体育館(手前)と新校舎(左手奥)。連絡通路で小学校校舎と現在使用中の記念体育館とが繋がっている。小中高全て行き来可能だ。

新体育館は、現在使用中の小学校校舎の北側に位置し、互いの二階部分が連絡通路で繋がっている。四階建てで、一階には多目的アリーナ、二階には講堂の機能(ポタターン一つで椅子が出てくる)も兼ね備えているアリーナ、三階にはギヤラリーがあり、二階のアリーナを一望できる。尚、一階部分は、災害時の避難場所としても活用できる。さらに、これまでの記念体育館とも連絡通路で繋がっており、小中高全ての建物と行き来できる。



新校舎西側には「HOSHINO GAKUEN」の文字が青く光る。



新体育館2階の様子

新体育館の西側には新校舎が併設されており、より一層の教育施設の充実が図られている。主なものとしては、教室三つ分の広さを持つ新ランチルーム。従来のランチルーム以上に、児童



新体育館1階の様子



新ランチルームの様子

## 星野学園小学校の

# 安全 安心

たちの交流の場となるだろう。さらに、図工室や音楽室等の特別教室と、多くの教室が作られている。備蓄庫を備えた地下室もある。また、新校舎にも屋上広場が設

けられており、児童たちの遊ぶ環境がますます充実する。休み時間には、多くの児童が集まり、笑顔があふれる様子が目に浮かぶ。新年度には、これらの新施設の使



新校舎屋上にある大型自家発電機。これによって、停電に見舞われた際も、校舎内の電力を確保することができる。

昨年、東日本大震災以降、防災への意識が高まっている。星野学園小学校は建学以来、人命を第一優先としていることから、安全・安心につ

いて取り組んでいる。まず、児童は一斉メー

防災について、学園の建物も万全である。尚、本学は広大なグラウンドを有し、地域の指定避難場所となっている。

しており、緊急時の対策も万全である。尚、本学は広大なグラウンドを有し、地域の指定避難場所となっている。



新校舎屋上(人工芝の様子)



新校舎地下室への入口。地下室の備蓄庫には全児童の2日分の食糧(3年保存)と水(5年保存)、簡易寝袋が収められており、万が一の場合に備えられている。



記念体育館との連絡通路



小学校校舎との連絡通路

# 星野学園小学校の

## クラブ活動

全人教育を掲げる星野学園では、「勉強だけ出来ればよい」という考え方でなく、子どもたちは勉強・運動にバランス良く励んでいる。特に星野高校では、日々の学習のみならず、部活動にも力を入れていく。左の表は、過去三年間の部活動の実績である。別紙の星野高校進路進学実績と併せて、参考にしていただきたい。

私たちは火曜日のクラブ活動の時間を楽しみにしている。現在は個性豊かな八つのクラブ活動に分かれている。運動系クラブは、男子に人気のサッカークラブ、ダンスや卓球等、幅広くスポーツに触れ合うスポーツクラブの二つ。文化系クラブは以下の六つ。メディアルームのパソコンで、様々な制作をするパソコンクラブ、真剣勝負部活動と合同で活動し、互いに刺激し合っている。

色々な実験をする科学クラブ、女子に人気の手芸クラブ、リコーダー等の楽器でのアンサンブルが魅力の合奏クラブ、創造性を高める工作クラブである。今後、クラブの数は増えていく予定である。尚、現在サッカークラブ、スポーツクラブ、囲碁将棋クラブは、中高の部活動と合同で活動している。ある年の一年B組では48・8%の子が無欠席であった。「学校が楽しい」と言う児童が多いことが、欠席の少なさと関係していると思われる。

ソフトボール部	インターハイ 優勝
新体操部	インターハイ 団体5位 個人9位
卓球部	インターハイ 出場
箏曲部	全国総合文化祭 文化庁長官賞
音楽部	全日本合唱コンクール全国大会 銀賞
吹奏楽部 マーチングバンド	全国総合文化祭 グッドパレード賞
バトン部	全国ダンスドリル選手権大会 第2位
放送部	NHK杯全国高校放送コンテスト 出場 全国総合文化祭 出場
百人一首部	全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 出場
書道部	国際高校生選抜書展 特別大賞 全国総合文化祭 特別賞
新聞部	全国総合文化祭 優良賞



小中高合同で練習するサッカー部。朝練にも力が入る。

### 無欠席者

「星野は欠席が少ない。」このことをより印象付ける数値が明らかになった。この三月に卒業する高校三年生の内、三年間無欠席の生徒が47・9% (女子部のみは51・3%)おり、過去最高のパーセンテージを記録した。無欠席が多いのは高校だけではなく、小学校も同じである。多くの学級の一年間の無欠席率は20%を優に越えている。ある年の一年B組では48・8%の子が無欠席であった。「学校が楽しい」と言う児童が多いことが、欠席の少なさと関係していると思われる。

### 冬の学校無事終了

#### ナイター参加率九割超

二月八日(水)から二泊三日の「冬の学校」が苗場スキー場で行われた。二泊三日は九日から一泊二日。五、六人のグループにインストラクターが付き、三日間レッスンを受ける中で、見違えるほど上達した児童も少なくなかった。二日目は、午前・午後の実習だけではなく、九割以上がナイタースキーにも参加し、普段とは異なるスキーを楽しんでいた。



苗場の自然に触れながら、共同生活を過ごす貴重な経験をすることができたようだった。

### New Zealand

五年生は、八月下旬の七日間、はじめての修学旅行を大成功で終えた。主な活動は、現地校(エルムパークスクール)との学校交流と、二泊三日のファームステイ。学校交流では、日本の伝統文化紹介で大いに盛り上がり、ファームステイでは、広大な敷地と膨大な数のペットに目を輝かせながら、ニュージーランドの生活を堪能した。この旅行を境に、「英語が得意になりたい!」という児童が増えた。

一月二十七日(金)の五、六時間目に、五年生七十八名が漢字検定を受験した。多くの児童が五年生修了程度の六級を受験、中には六年生修了程度の五級、中学校在学程度の四級を受験する児童もいた。合格点や満点合格を目指し、通学バスの中や休み時間にも問題演習に取り組む姿が多く見られた。結果は四十日後に通知される予定で、多くの児童がその日を楽しみにしている。

### 高校生ボランテニア

#### 高校生四十二名が参加

二月一五日(水)〜一七日(金)に、進路が決定している高校生が「ボランテニア先生」として、各教室にやってきた。最初はお互いに緊張する中でのスタートだったが、休み時間や給食を一緒に過ごしたり、勉強を教えたりする中で、最終日には楽しく過ごしている様子が随所で見られた。最後は集合写真や手紙を送るなど、別れを惜しむ児童も多くいた。高校生には将来の夢に向けてのステツ

プとして、小学生には将来の夢を考える上でも、良い経験になったようだ。この経験から「小学校の先生になりたい気持ちが強くなった。」と語る高校生もいた。

### 社会科見学

一月一九日(木)に三年生・四年生の社会科見学が行われた。「災害からくらしを守る」をテーマに川越北消防署と埼玉県防災学習センターに行き、地震や煙の疑似体験を通して、災害の怖さを知るとともに、災害からくらしを守るための工夫や努力について考えるきっかけとなったようだ。



また、二月一五日(水)には五年生の社会科見学が行われ、狭山市にある本田技研とロッテでの工場見学が行われた。自動車の生産の工場にも行ってみたい。」と言う声も聞くことができた。学校では味わえない社会科の面白さを知ることができた。